

春のような日和りの中で嶽山の道を整備しました。



49. トラツグミ (ヒタキ科) 京都府絶滅危惧種



フキノトウ



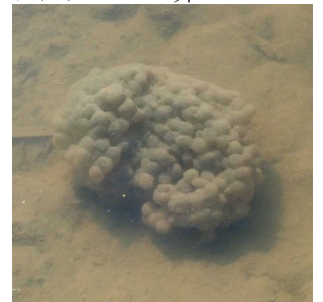
オオイヌノフグリ



カンサイタンポポ



アカガエルの卵



周辺の鳥

45. アオジ (ホオジロ科)



46. カシラダカ (ホオジロ科)



47. ホオジロ (ホオジロ科)



48. ミヤマホオジロ (ホオジロ科)



精華町と周辺でキツネが何とか命をつないでいます。野良犬がないのが救いですが狩猟の時期には猟犬から逃げる場所が必要です。春に子ギツネが生まれ夏が過ぎると親は子供を追い出します。キツネが住める場所は林と農耕地が接している場所で縄張りを探すのは難しい。光台、精華台、記念公園などで姿を目撃される事があります。2020年2月には自衛隊南門近くの道路でキツネが車に衝突して死にました。車と衝突して亡くなるのはキツネ以外にタヌキ、アナグマ、イタチ、イノシシなどで夜間が多い。



私がキツネを初めて見たのは2016年3月で丘の陰から風のような音がして走り去りました。このキツネは雌で5年間に見た子供の数は1匹か2匹、秋まで育つのは1匹。母ギツネが子供を育てますが一度ヘルパーと3匹でいるのを見ました。



手前にいるのがヘルパーで前年の子のようにです。

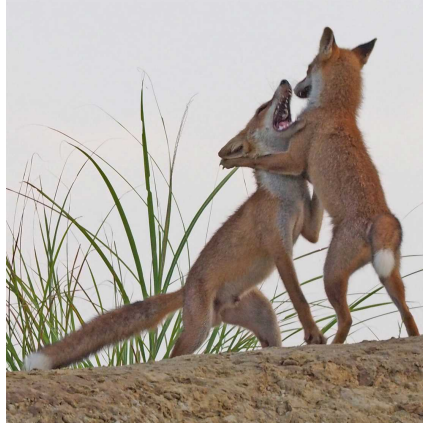


キツネの食べ物は肉食に近い雑食だといわれています。毎晩、食べ物を探していますがウサギ、リス、ネズミなどの小動物の数が減り苦勞していると想像しています。私が光台付近の山の中で生活すると何日生きられるでしょうか？ 何年も洞窟で暮らした群馬の「洞窟おじさん」の山と比べて付近には食料が乏しい。イノシシが捕れば何とかかなりそうですが・・・

子ギツネ



遊び 右が子ギツネ



キツネの糞



キツネの母 このキツネと出会って5年が過ぎ、目から警戒の厳しさが弱まった感じがします。

